

2021年3月24日
公益財団法人 日本英語検定協会

(続報)

受験者の希望する団体に成績を提供・活用できる！ 「団体向け成績提供システム」機能拡充のご案内

公益財団法人 日本英語検定協会は、先般 2020年11月17日^{※1}にご案内のとおり、「団体向け成績提供システム」のサービスを開始いたしました。本システムは、受験者様が受験した検定試験（英検、英検 S-CBT、英検 CBT、英検 S-Interview、TEAP）の結果を、所属学校や塾等の任意の団体に提供することができるサービスです。

このたび、下記のとおり、「団体向け成績提供システム」の機能を拡充いたしますので、ご案内いたします。

「団体向け成績提供システム」機能拡充

これまで成績の提供は、個人受験した場合のものに限られていましたが、
このたび、受験者が**団体受験した場合の成績の提供も可能**となりました。

「実用英語技能検定（従来型英検）」では、「団体申込」で受験される方も多くいらっしゃいます。このたびの機能拡充によりまして、2018年度 第1回検定分から、団体申込受験者の成績提供が可能となりますので、団体責任者様・受験者様にとりまして、英検の成績活用の幅が一段と広がります。

「団体向け成績提供システム」の概要につきましては、先般のお知らせ^{※1}を再掲いたしますので、ご高覧願います。

※1: [「団体向け成績提供システム」サービス開始のご案内：受験者が個人で受験した成績を提供・活用できる！](#) (2020年11月17日付)



「団体向け成績提供システム」のご案内（再掲）

「団体向け成績提供システム」でできること

- 受験者様が、ご本人承諾の上で登録[※]すれば、団体の責任者様も、受験者様の成績を閲覧できるようになります。 ※必要な手順の詳細は、次頁に記載のウェブサイトでご案内しております。
- 受験者様が以下の検定試験を受験した際の成績を、希望の団体に提供することができます。

英検

後援：文部科学省

英検

後援：文部科学省

S-CBT

英検

後援：文部科学省

CBT

英検

後援：文部科学省

S-Interview

TEAP

Test of English for Academic Purposes

- 団体責任者様の成績閲覧画面では、受験者様の合否はもちろん、**英検バンド**、**英検 CSE スコア**、**4技能 CEFR スコア**などが掲載されます。TEAP では、**TEAP スコア**、**TEAPCSE スコア**、**4技能 CEFR スコア**が掲載されます。団体責任者様は、受験者様の成績を技能別に把握し、指導にお役立ていただけます。

このサービスの提供開始により、団体責任者様、および受験者様に以下のメリットがございます。

<団体責任者様のメリット>

個人、または別の団体で受験した成績を、学習指導に活用することができます

児童・生徒が入学前や在学中の英語力を把握でき、検定試験の受験状況の把握や、成績に基づく学習指導に役立てることができます。また、団体受験を実施しなかったテストの成績結果においても、個人受験者の成績結果を閲覧することができ、内申書に成績結果を記入する際等にもご活用いただけます。

<受験者様のメリット>

適切な学習指導を受けるため、入試・就活での成績証明に

個人、または別の団体で受験した際の成績結果に基づき、英語能力向上のためのより適切な学習指導を受けられるほか、入試・就活等の際にも、英語力の証明として成績結果を提出することができます。

なお、本サービスの詳細につきましては、『団体向け成績提供システムのご案内』ウェブサイトでご紹介しております。「**団体責任者様向け**」、「**受験者様向け**」のページをご用意していますので是非ご覧ください。



『**団体向け成績提供システムのご案内**』ウェブサイトへ

https://www.eiken.or.jp/group_id/index.html

【背景】

英検協会が実施する実用英語技能検定（英検）では、多くの団体様（学校・塾など）で団体申込をいただいております。団体申込をさせていただきますと、団体責任者様は団体成績表で自校の受験者の成績結果を一覧で把握することができるため、受験者個々の成績に応じた学習指導や、団体としての英語力の伸びを測ることに役立っていただくことが可能です。

一方で、これまでは受験者が団体を介さずに個人申込をした場合や、他の団体で申込された場合は、所属する団体（学校・塾など）の責任者様は、受験者の成績を把握することはできませんでした。

また、「英検 CBT」、「英検 S-CBT」、「TEAP」といった、通常、個人でのみお申し込み可能な検定試験を受験された場合も同様に、所属する団体の責任者様は受験者の成績を閲覧することはできず、「所属する生徒が英検 CBT 等の個人申込の検定試験を受験した場合でも受験者の成績を閲覧したい」との声が多く寄せられていました。

英検協会が実施する従来型の英検をはじめ、英検の CBT 方式や、TEAP は、4 技能をバランスよく測定でき、英語力をスコアや 4 技能総合 CEFR で示すことができることから、現在、外部資格検定として活用が広がっています。そこで、英検協会としましては、団体責任者様が、所属する生徒の各検定試験の取得履歴や成績の推移を把握することで、より一層、受験者の目標に応じて計画的に資格取得に取り組んでいただく学習指導の一助となるよう、本サービスを開発いたしました。

なお、本サービスの利用に際し、個人でお申し込みされた受験者様ご本人の承諾とご本人からのご登録が必要となりますのでご了承ください。

以上、団体責任者様、および受験者様におかれましては、上述の「団体向け成績提供システム」の主旨をご理解のうえ、英語力向上に有効にお役立っていただきますようお願い申し上げます。